

## 編 集 後 記

桃山学院は昨年創立110年の感謝記念礼拝と祝会をもち、今年1995年春には「111年目の新たな出発」を期して新造成建築の和泉キャンパスへ全面移転することになって、着々として準備がすすめられている。

従って、本号は現登美丘キャンパスにおける最後の発刊であり、来号からは和泉キャンパスにおける新たな営みとなるのであって、編集にも執筆にも大きな刷新が期待される。

本号所掲の沼田、林、ゴンザレス論文にも、研究ノート、翻訳論文にもみられるようにキリスト教神学プロパーのものというよりも、宗教学、宗教教育、音楽など広い範囲の研究分野をも網羅した研究活動を進めて行きたいという私たちの願いをそのまま表現していると言えるだろう。

私どもは新キャンパスに移った後も、このような宗教、思想、文化などあらゆる分野の研究活動を収録、発表の場として提供することを続けて行くつもりであるので読者諸賢のご批判ご鞭撻をお願い申し上げる。

尚、本誌の発行が毎年度末の3月となっているので、本号は1994年度内の出版物であるため「創立110周年記念号」の名を冠したことを付言しておく。

(藤間繁義 記)